

新型コロナウイルス感染症と安全管理

ケアワーカーが新型コロナウイルス感染症に罹患する確率が一般市民よりも低いことは、すでに「ケアワーカーについての誤解」の項で述べた通りですが、施設の利用者さん（高齢者や障害者）が新型コロナウイルス感染症に罹患する危険性が残されていることは事実です。

医療の分野では、最近、医療安全とその管理について厳格に行うことが推奨されています。そのため、医療職の養成校や医療施設では安全管理に関する教育が徹底され、研修会も頻回に開催されています。それでも、航空業界の安全管理には及ばず、未だに医療事故はなくなりません。

社会福祉や介護福祉の分野においても、安全管理が重要であることは、言うまでもありません。介護施設では、感染症が利用者さんに広がらないよう配慮するほか、転倒予防にも配慮が必要です。かといって、利用者さんを寝かせ切りにしたり、要介護度を悪化させたり、いきがいをなくしたりすることは避けなければなりません。そこで、今後は介護安全の在り方を検討したり、安全管理に関する教育を増やすことが重要です。

介護施設では、人手不足の現状から無資格の方々も介護職として働いています。今後は有資格者を増やすこと、特に医療の知識をもった医療ケアワーカーを育成することが求められます。個々の利用者さんの身体的・精神的な状態を正確に評価し、安全配慮を行って介護することが不可欠です。明るい高齢社会のために、介護福祉が深化することを期待しています。